【留意事項】
(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
※1　1回線送電線のため1回線設備容量を記載
※2　1回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
(4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N－1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N－1電制適用可であっても、設置されるとは限りません。
また、適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
＃1　基幹系ループ系統のため
＃2　1回線送電線のため
＃3　系統安定度制約のため
(5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。
(6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
(7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
(8) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm
(9) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
(10) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、予想潮流、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
(11) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
＊https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html
(12) 潮流値は、アップ潮流最大時の潮流を現時点で想定される条件において算出したものであり、実際の潮流値と異なる可能性があります。
(13) 個別需要が分かる専用線等や電源が1ユニットのみの電源線については第三者情報を排除するよう加工処理をしております。
(14) 当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、当社は責任を負いません。
(15) ノンファーム型接続対象外の設備は、備考欄に「●」を記載しております。

2026年9月9日 更新

送電線No	送電線名	電圧[kV]	回線数	設備容量（100%×回線数）[MW]	運用容量値[MW]	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流[MW]	空容量[MW]	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量[MW]	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
													当該設備	上位系設備	
H001	朝日小川線	154	1	76	76	熱容量	新愛本黒部線No.33→朝日小川線No.1	−57	−	不可　＃2	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※1
H002	新愛本黒部線	154	2	270	135	熱容量	黒部→新愛本黒部線No.33	−57	−	不可　＃2	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	
H003	黒部江口線	154	2	280	208	熱容量	江口→黒部	−176	−	可	72	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※2
H004		154	2			熱容量			−			有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	◇
H005		154	1			熱容量			−			有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	◇
H006	舟橋江口線	154	2	572	495	熱容量	舟橋→江口	−203	−	可	77	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※2
H007	池の尾線	154	1	25	25	熱容量	折立→池の尾	−9	−	不可　＃2	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	
H008	折立線	154	1	101	101	熱容量	和田川第一→折立	−17	−	不可　＃2	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※1
H009	和田川連絡線	154	1	50	50	熱容量	和田川第二→和田川第一	−44	−	不可　＃2	−	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※1
H010	有峰幹線（山）	154	2	304	234	熱容量	新中地山→和田川第二	−174	−	可	70	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※2
H011	有峰幹線（里）	154	2	428	311	熱容量	舟橋→新中地山	−303	−	可	117	有り	−	H012,H026,H104,H105,HSS003	※2
H012	舟橋線	154	2	682	463	熱容量	富山→舟橋	−572	−	可	109	有り	対象	H026,H104,H105,HSS003	※2
H013	栃尾線	154	1	101	101	熱容量	葛山→栃尾	−27	−	不可　＃2	−	有り	−	H104,H105,HSS003	※1
H014	葛山線	154	1	128	128	熱容量	見座→葛山	−53	−	不可　＃2	−	有り	−	H104,H105,HSS003	※1
H015	中部連絡線	154	1	101	101	熱容量	見座→中部連絡線No.39	0	−	不可　＃2	−	有り	−	H104,H105,HSS003	※1
H016	東町支線	154	2	246	123	熱容量	見座線No.40→東町	−35	−	可	123	有り	−	H104,H105,HSS003	
H017	見座線	154	2	246	180	熱容量	牧→見座	−137	−	可	66	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H018	牧線	154	2	308	234	熱容量	北笹津→牧	−178	−	可	74	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H019		154	1			熱容量	―	−	0	−	−	有り	−	H104,H105,HSS003	◇●
H020	神通第一線	154	2	246	123	熱容量	―	−	29	−	−	有り	−	H104,H105,HSS003	●
H021		154	2			熱容量	―	−	145	−	−	有り	−	H104,H105,HSS003	◇●
H022	有峰第一線	154	2	536	457	熱容量	―	−	68	−	−	有り	−	H104,H105,HSS003	※2●
H023	北笹津線	154	2	1012	760	熱容量	北笹津→富南	51	−	可	250	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H024	富南線	154	2	536	268	熱容量	富山→富南	0	−	不可　＃2	−	有り	−	H026,H104,H105,HSS003	
H025	新富山北笹津線	154	2	1028	746	熱容量	新富山→北笹津	−674	−	可	250	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H026	富山線	154	2	890	668	熱容量	新富山→富山	−706	−	可	183	有り	対象	H104,H105,HSS003	※2
H027	火力富山線	154	2	998	729	熱容量	富山→富山火力	−425	−	可	250	有り	−	H026,H104,H105,HSS003	※2
H028		154	1			熱容量			−			有り	−	H026,H104,H105,HSS003	◇
H029	草島新港線	154	2	648	566	熱容量	富山火力→富山新港火力	−374	−	可	82	有り	−	H026,H104,H105,HSS003	※2
H030	火力塚原線	154	2	580	290	熱容量	塚原→富山火力	−55	−	不可　＃2	−	有り	−	H104,H105,HSS003	
H031	富山新港火力線	154	2	1060	530	熱容量	塚原→富山新港火力	−365	−	可	250	有り	−	H104,H105,HSS003	
H032	塚原線	154	2	548	467	熱容量	新富山→塚原	−433	−	可	81	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H033		154	1			熱容量			−			有り	−	H104,H105,HSS003	◇
H034	塚原伏木線	154	2	1012	506	熱容量	塚原→伏木	0	−	不可　＃2	−	有り	−	H104,H105,HSS003	
H035		154	1			熱容量			−			−	−	−	◇
H036		154	1			熱容量			−			−	−	−	◇
H037		154	1			熱容量			−			−	−	−	◇
H038	新能登線	154	2	536	268	熱容量	新能登→塚原	−16	−	不可　＃2	−	−	−	−	
H039	中能登新能登線	154	2	1072	915	熱容量	中能登→新能登	−401	−	可	157	−	−	−	※2
H040	鳳至線	154	2	536	268	熱容量	中能登→鳳至	−429	−	可	107	有り	対象	−	
H041	南福岡線	154	2	536	457	熱容量	新富山→南福岡	−415	−	可	79	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H042		154	2			熱容量			−			有り	−	H104,H105,HSS003	◇
H043	北金沢線	154	2	536	457	熱容量	新富山→北金沢	−415	−	可	79	有り	−	H104,H105,HSS003	※2
H044	御所線	154	2	1060	762	熱容量	加賀→御所	−44	−	可	250	−	−	−	※2
H045	南金沢線	154	2	1708	1317	熱容量	加賀→南金沢	−397	−	可	250	−	−	−	※2
H046	笠間線	154	2	1012	810	熱容量	南金沢→新小松線No.45	18	−	可	202	−	−	−	※2
H047	新小松線(北金沢)	154	2	430	430	熱容量	新小松線No.45→北金沢	48	−	可	0	−	−	−	
H048		154	2			熱容量			−			−	−	−	◇
H049	新小松線(新小松)	154	2	428	348	熱容量	新小松線No.45→新小松	−31	−	可	80	−	−	−	※2
H050	手取幹線	154	2	536	463	熱容量	―	−	96	−	−	−	−	−	※2●
H051	第二福井火力線	154	2	536	268	熱容量	福井火力→新小松	−369	−	不可　＃2	−	有り	対象	H052,H053	
H052	福井火力線	154	2	856	650	熱容量	北庄→福井火力	−824	−	可	31	有り	対象	H053	※2
H053	北庄線	154	2	882	678	熱容量	新福井→北庄	−822	−	可	59	有り	対象	−	※2
H054	松岡連絡線	154	2	536	457	熱容量	新福井→松岡	−310	−	可	79	−	−	−	※2
H055	九頭竜幹線	154	2	428	214	熱容量	松岡→西勝原第三	−165	−	不可　＃2	−	−	−	−	
H056		154	2			熱容量			−			−	−	−	◇
H057	福井幹線	154	2	270	135	熱容量	松岡→新武生	0	−	不可　＃2	−	−	−	−	
H058	北庄丹生線	154	2	536	268	熱容量	北庄→丹生	0	−	不可　＃2	−	−	−	−	
H059	新武生丹生線	154	2	536	457	熱容量	新武生→丹生	8	−	可	79	−	−	−	※2
H060	南条新武生線	154	2	2026	1142	熱容量	南条→新武生	33	−	可	250	−	−	−	※2
H061	敦賀線	154	2	308	154	熱容量	南条→新敦賀	−133	−	不可　＃2	−	−	−	−	
H062		154	2			熱容量			−			−	−	−	◇
H063	御所北金沢支線	154	2	832	416	熱容量	北金沢線No.135-1→御所	0	−	不可　＃2	−	有り	−	H104,H105,HSS003	
H101		275	2			熱容量	―	−	91	−	−	−	−	−	◇●
H102		275	2			熱容量	―	−	173	−	−	−	−	−	◇●
H103		275	2			熱容量	―	−	535	−	−	有り	−	H104,H105	◇●
H104	新富山幹線	275	2	1358	990	系統安定度	城端→新富山	−1,330	−	不可　＃3	−	有り	対象	−	※2
H105	中央幹線	275	2	1318	990	系統安定度	加賀→城端	−1,330	−	不可　＃3	−	有り	対象	−	※2
H106	加賀東金津線	275	2	1318	1035	熱容量	加賀→東金津	−393	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2
H107	東金津新福井線	275	2	1318	1035	熱容量	新福井→東金津	−459	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2
H108	越前線	275	2	1808	1447	熱容量	越前→新福井	−745	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2
H109	南条越前線	275	2	1808	1447	熱容量	越前→南条	−1,168	−	可	250	−	−	−	
H110	敦賀火力線	275	2	1808	1447	熱容量	南条→敦賀火力	−1,124	−	可	250	−	−	−	
H201		500	2			熱容量	―	−	1,986	−	−	−	−	−	◇●
H202	能登幹線	500	2	6580	5265	熱容量	加賀→中能登	−1,881	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2
H203	能越幹線	500	2	6580	5265	熱容量	南福光→中能登	−1,340	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2

送電線No	送電線名	電圧[kV]	回線数	設備容量（100%×回線数）[MW]	運用容量値[MW]	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流[MW]	空容量[MW]	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量[MW]	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
													当該設備	上位系設備	
H204	加賀福光線	500	2	6580	5265	熱容量	加賀→南福光	−1,040	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2
H205	加賀幹線	500	2	5568	4521	熱容量	越前→加賀	−2,338	−	不可　＃1	−	−	−	−	※2